

水道事業評価(令和4年度)

1 事業情報

担当課

上下水道総務課

目指すべき方向性	強靱	基本政策	3 災害対策の推進	施策	3-1 震災対策の強化	事業	3-1-2 応急給水・復旧体制の整備
----------	----	------	-----------	----	-------------	----	--------------------

2 事業評価の概要

項目	内容
基本政策	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。
事業目的	災害時や非常時の応急給水・復旧体制を整備し、情報収集機能の強化、関係団体等との連携強化など、社会基盤の一翼を担う水道事業体として対応策の強化を図ります。
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道局災害対策訓練等から得られた知見を活かして、マニュアルの更新を行います。 日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体や関連団体と継続的な情報交換を行います。 継続的な局内全体の応急給水復旧体制の基礎を整え維持するよう働きかけます。

期間	令和4年4月	～	令和5年3月				
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出
	事業費計	170	170	0	0	0	0
	工事費	0			0		
	原材料費	0			0		
	委託料	0			0		
	賃借料	0			0		
	その他	170	170		0		0%
人件費	6,468			0		0%	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	4千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	2%		
進捗状況	水道災害相互応援四市連絡協議会については、該当事業体との応援体制表を更新しました。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況				
事業達成度	選択			
事業達成度 C~Eの理由				

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R4	R5	R6
指標名	【PI B203】給水人口一人当たり貯留飲料水量	単位	L/人	目標値	146		
算出式・根拠	[(配水池有効容量(緊急貯水槽容量を除く)×1/2+緊急貯水槽容量)×1,000]/現在給水人口			実績値			
指標名	【PI B611】応急給水施設密度	単位	箇所/100km ²	目標値	42.0		
算出式・根拠	(応急給水施設/現在給水面積)×100			実績値			
指標名	【PI B210】災害対策訓練実施回数	単位	回/年	目標値	13		
算出式・根拠	年間の災害対策訓練実施回数			実績値			
指標名		単位		目標値			
算出式・根拠				実績値			

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	選択	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	選択
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	選択	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	選択

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
選択		選択